

1 禁止

<書き下し文・意味>

<句法解説>

(1) ほどこそことなかれ

己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ（自分が望まないことは、人にもしてはいけない）

勿は、禁止の句法。「～なかれ」と読み、「～してはいけない」と訳す。

(2) くらふことなかれ

子敢へて我を食らふこと無かれ（あなたはけっして私を食べてはいけません）

無は、禁止の句法。「～なかれ」と読み、「～してはいけない」と訳す。

(3) きみわらふことなかれ

酔ひて沙場に臥す君笑ふこと莫かれ（酔って、この砂漠の戦場に寝転んでしまっても、君よ、笑ってはいけない）

莫は、禁止の句法。「～なかれ」と読み、「～してはいけない」と訳す。

(4) はばかりことなかれ

過てば即ち改むるに憚ること勿かれ（あやまちを犯したら改めることをためらってはいけない）

勿は、禁止の句法。「～なかれ」と読み、「～してはいけない」と訳す。

(5) なさざることなかれ

善の小なるを以て為さざること勿かれ（小さな善行だからという理由でそれをやめてはいけない）

勿は、禁止の句法。「～なかれ」と読み、「～してはいけない」と訳す。

2 二重否定その1

(6) とほさざるなきなり

物に於いて陥さざる無きなり（どんなものに対してでも、突き通さないことはない）

無[レ]不は、二重否定の句法。「～ざるなし」と読み、「～しないものはない」と訳す。

(7) あらざるなし

土佐は物として有らざる無し（土佐にはどんな物質でもある）

無[レ]不は、二重否定の句法。「～ざるなし」と読み、「～しないものはない」と訳す。

(8) しらざるものはなし

其の親を愛するを知らざる者は無し（自分の親を愛することを知らない人間はいない）

無[レ]不は、二重否定の句法。「～ざるなし」と読み、「～しないものはない」と訳す。

(9) にくまざるにあらざる

寒さを悪まざるにあらざるなり（寒さを嫌がらないわけではない）

非[レ]不は、二重否定の句法。「～ざるにあらざる」と読み、「～しないのではない」と訳す。

(10) あらざるはなし

王土に非ざるは無し（王の土地でないものはない）

無[レ]非は、二重否定の句法。「～にあらざるなし」と読み、「～でないものはない」と訳す。



【アプリ版のご紹介】中高生の漢文

再読文字や二重否定、疑問・反語など、漢文の返り点と句法を収録。
項羽や劉邦を始めとする歴史上の人物や、故事などに関する豆知識も満載！
アプリ版は、軽快なテンポで多数の問題に挑戦できるので、反復学習に最適です。



【他アプリからオマケの一題】

中高生の古文

「はかなし」の意味は？

(A) 緑の (B) 気むずかしい (C) 気力にあふれた (D) つまらない